

講習会

ロボット用ミドルウェアを 活用したソフトウェア開発入門 【RT ミドルウェア編】

日時 平成30年7月24日(火) 13:00~17:00

場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(本部)
東京都江東区青海2-4-10

●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分 [朝夕無料送迎バスあり3分]
都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

受講料 3,000円

本講習会では、ロボット用ミドルウェア(RTミドルウェア)を活用してロボットのソフトウェアを開発する手法について紹介し、その具体例について実習を通して学びます。また、RTミドルウェアを開発された講師をお招きし、ロボットを取り巻く将来のソフトウェア技術動向についてご紹介します。

ロボット用ミドルウェアは、ソフトウェアを分割し、かつ、相互に通信させるための基盤を提供します。ここで注目するロボットは、周辺状況などから動作を調整する、より自律性が高いロボットです。工場で決まった動作を繰り返すようなロボットと異なり、自律的なロボットのソフトウェアは、制御、認識、コンテンツ等の課題の複雑性や、計算機性能の制約から、複数の計算機に分担して実行されます。ロボット用ミドルウェアは、このような実行に際し、開発スピードを向上させるための重要なキーテクノロジーとなります。

本講習では、受講者がC++言語によるプログラミングを行えることを想定しています。ノートPC等の機材の持ち込みは不要です。



マスコットキャラクター テリノ

定員

10名



講座内容・スケジュール

時間	科目	講師
13:00~14:00	ロボティクス・ソフトウェア分野におけるRTミドルウェアの位置づけと今後	(国研)産業技術総合研究所 安藤 慶昭
14:00~15:00	RTミドルウェアの基本	東京都立産業技術研究センター ロボット開発セクター 職員
15:00~16:00	RTミドルウェアとハードウェア - T型ロボットベース(4輪台車)、センサ	
16:00~17:00	RTミドルウェアによるロボットシステムの構成	